



康心会汐見台病院

産科だより

令和元年

もうすぐ梅雨入り。じめじめした季節が来ます。お外で遊べずにストレスが溜まる季節です。お外デビューした赤ちゃん達にとっては、辛い

です。大人もジメジメと蒸し暑い気候に、なんとなく、憂鬱な気分になったり、寂しくなったり、頭痛がしたり、古傷が傷んだりと不調がだてきたりするものですが、赤ちゃんも同じです。ただ、赤ちゃんは言葉にすることが出来ないで、泣いて訴えるしかありません。「なんで泣いているんだらう」「今日はずっと機嫌悪いな」と感じた場合は、お天気が原因のこともあるかもしれません。そんなときは除湿機を使って、過ごしやすい環境を作つてあげたり、逆に雨の中をレインコート来て、長靴履いて、お散歩するのもありかもしれません。水たまりで遊んだり、屋根などからつたってくる水にわざと傘をさして入つてみたり。お家の中では、窓についた結露を競争しながら雑巾で拭いたり、落ちてくる水滴をさまざまな容器に受けて音を楽しんでみたり。赤ちゃんの月齢に合わせた楽しみ方で乗り越えてみると、赤ちゃんもママとストレスなく、過ごすことが出来るかもしれません。



◆ベビーマッサージ

2018年6月よりベビーマッサージを開始して1年が経ちました。たくさんのお母さんと赤ちゃんたちにご参加いただいています。何度も起こしくださる方やご自宅でも実践して下さる方もいらっしやいます。赤ちゃんの発達促進や症状の改善、親子のスキンシップのお手伝いになれていたら嬉しいです。

今年4月からはベビーマッサージの時間内で「ミニ講座」を始めました。専門の方をお招きして、短時間ではありますが講義をしていただき、その方を含めて質疑応答や座談会をします。

4月は保育士さんによる「手作りおもちゃの紹介」でした。赤ちゃんたちも興味津々で、作つてきてくれたおもちゃを実際に手に取り遊んでいました。中には気に入ってずっと離さず握つてきた子も。赤ちゃんの気を惹くだけでなく、簡単に作れるものばかりです。し、誤飲にも配慮されたものなので、アイデアにお母さん



んたちも感心していました。

5月は臨床心理士さんより発達の観点からお話をしてもらいました。寝返りができることで世界が変わること、「どんな子になって欲しい」という親の想いに近づいてもらえるために今できることは何か、赤ちゃんの気持ちを代弁してあげることの大切さ、など。とても興味深い内容で、みんな真剣に聞き入っていました。

6月は栄養士さん、7月は国際薬膳師さんをお招きし、8月以降は保育士さんから輪番で担当していただく予定です。ベビーマッサージに加えてミニ講座も楽しんでいただきたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしています。ベビーマッサージ担当 高野



◆今月の赤ちゃん

今回の赤ちゃんの写真は外来からの提供です。このとき12週くらい。頭の幅は25ミリ、頭からお尻までが64ミリ。女性でも片手に乗るくらいの大ささです。この写真は右側に頭、左右にうっすらと黒く点が写っているのが目、足はよく写っていませんが、ぼんぼこりんのお腹がよくわかります。左手を顔の方に持つていき、「やあ!」とこっちに挨拶をしていくかのよう。「ぼく(私)は元気だよ」って伝えてくれているのかな? 予定日は10月頭。みんな、会えるのを楽しみにしているよ!

